

令和2年富良野市教育委員会第1回定例会

開催年月日	令和2年1月17日（金） 午後5時11分開会
開催場所	富良野図書館 3階教育委員会室
出席委員	教育長 近内 栄一 委員 宮本 鎮栄 委員 津山 正樹 委員 菅野 義則 委員 渡邊 啓子
欠席委員	なし
説明のために出席した者の職氏名	教育部長 亀淵 雅彦 学校教育課長 佐藤 清理 学校教育課管理係長 石坂 征和
議事日程	日程第1 会期の決定について 日程第2 議案第1号 富良野市学校施設長寿命化計画の策定について
会議録署名委員の氏名	委員長は、会議録署名委員に次の委員を指名した。 宮本 鎮栄 委員
傍聴人	なし

議事の経過

開会 午後5時11分

近内教育長

只今より令和2年富良野市教育委員会第1回定例会を開会いたします。  
会議録署名委員には、宮本委員にお願い致します。  
次に、教育長事務報告をお願いします。

亀淵教育部長

令和元年12月16日から令和2年1月16日までの事務報告を致します。お手元の資料に基づき、主だったものについてご説明いたします。  
12月25日、第2回富良野市総合教育会議を市役所にて開催しています。  
1月9日、イングリッシュキャンプを美瑛の大雪青年の家で行っております。  
また、令和2年富良野市新春教育懇話会をハイランドふらのにて開催しています。  
1月16～17日、学校ICTフォーラムに茨城県つくば市及び東京都港区三田にて開催され出席しています。

以上です。

近内教育長

只今の教育長事務報告について、補足説明を行います。

12月25日の第2回富良野市総合教育会議では、宮本委員より教育施策と文化施策を一体化させ社会包摂的な施策を充実させる必要があるとご意見を頂きましたが、今後の学校教育及び社会教育計画策定にあたっては、それぞれの計画の一体的推進が可能な計画づくりを検討していきたいと考えています。

1月9日のイングリッシュキャンプでは、今年も20名の小中学生が参加しました。今年、ALTの人数も市内と他市町村加えて全部で8名の外国人ALTの参加、北海道教育大学の学生、ねーびるふらのの参加といった中で、開会式から終わるまでほとんどの参加者が英語を話す環境でありました。上川教育局の指導主事からもこの取り組みは非常にレベルが高い取り組みであるという評価を頂いております。また、同日の富良野市新春教育懇話会では、市議会総務文教委員長の佐藤委員長から、総務文教委員会で高齢者教育を調査項目としての目的、趣旨を確認したところ、平成30年度の教育行政評価報告の高齢者教育のこぶき大学運営事業の課題として、入学生が減少傾向にあるので引き続き学生の確保に努める必要があるという記載で、これについて何が課題、問題で入学生が減少傾向にあるのかを明確にしていく必要があるということ、また、こぶき大学が現在の高齢者ニーズに合致していない可能性もあり、ニーズに合わないものであれば再検討する、それから継続するのであれば内容をニーズに合わせる必要があるのではないかと調査するというご意見でした。今後市議会総務文教委員会と意見交換を行いながら、生涯学習の意見も入れながら整理する必要があると考えています。

最後に1月16～17日の学校ICT活用フォーラムでは、東京会場と茨城県のかづの義務教育学校を視察してきました。この主旨は、Society5.0を生きる子どもたちの学びのためには、教育におけるICT基盤をしっかりと整えて先端技術などの効果的な活用が不可欠な状況ですが、全国的に学校のICT環境が諸外国から比べて遅れているため、国では昨年12月に学校における高速大容量のネットワーク環境の整備を推進すると共に、義務教育段階において令和5年までに全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち十分に活用できる環境の実現をめざすことを閣議決定しました。それを踏まえて国では、令和元年度の補正予算にて校内通信ネットワーク整備、内容は令和2年度実施までの限定的なものであると説明がありました。併せて義務教育段階の児童生徒一人一人に1台の端末を整備することの2つについては、市教育委員会としても未整備のところを含め遅れることなく、他に先駆けて導入する考え方で情報収集の目的で参加しました。今後の詳細につきましては、早急に対応を検討し進めていきたいと考えています。

以上です。

近内教育長

只今の教育長事務報告について、何かご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

近内教育長

無ければ、次に進みます。

これより 議題に入ります。

日程第一 会期の決定についてお諮り致します。

会期については、本日一日と致したいと存じますが、これにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声あり》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって、只今お諮りのとおり決しました。

日程第二に移ります。

議案第1号を議題といたします。

議案第1号「富良野市学校施設長寿命化計画の策定について」を説明願います。

亀淵教育部長

議案第1号 富良野市学校施設長寿命化計画の策定について、ご説明申し上げます。

本件は、今後の学校施設の整備の在り方について、中長期的な観点から見通しを示すものとなります。また、計画策定にあたっては、統廃合が決まっていない学校は計画上、存続し続ける計画とし、改築より長寿命化の方が経費的に有利であることを示すこととなっています。

以下、概要についてご説明申し上げます。

1 ページは、計画の背景と目的としまして、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理や更新を推進する目的で、平成 25 年度に国は「インフラ長寿命化計画」を策定しました。これを踏まえ富良野市でも平成 27 年度に「富良野市公共施設等総合管理計画」を策定しています。

「富良野市学校施設長寿命化計画」は、学校施設の老朽化対策などの施設整備の方向性を定めた「個別計画」という位置付けになります。

また、目的については、これまでの対症療法的な事後保全から計画的な予防保全へと維持管理手法を転換することとしています。対象施設は、13 小中学校とし、計画期間につきましては、令和 2 年度から 10 年間を第 1 期の取り組み期間として、適宜見直しを行う予定です。

2 ページは、学校施設の目指すべき姿として、安全性や快適性、多様な学習内容や形態に対応した施設整備を進めていきます。

3 ページは、学校施設の保有量ですが、建築後 20 年以上経過した建物が 65% を占めており、やや老朽化が進んでいる状況です。

4 ページは、児童生徒数の推移と推計をグラフ化しています。平成 20 年度から児童生徒数、学級数ともに減少傾向となっています。

7 ページは、今年度実施した専門業者と現地調査の結果を踏まえ、文部科学省から示された基準をもとにしながら、劣化状況の分析を行いました。対象施設の棟別にそれぞれ劣化状況の健全度を数値化しています。評価では、機械設備部分でD評価 2 棟、C評価が 11 棟となっていますが、健全度についてはすべて 50 点以上となっており、長寿命化を行う方向です。

8 ページから 18 ページは、対象施設の主な部位別の劣化状況を現地調査に基づき記載しています。

20 ページは、40 年経過した後、改築する従来の整備方法を進めた場合、今後 40 年間で 228 億円の整備コストがかかる試算となりますが、21 ページでは長寿命化改修を行うことにより、今後 40 年間で 157 億円の整備コストとなり、70 億円・約 31.1%の縮減が見込まれます。

ただし、それでも年平均 4 億円の支出が必要で、さらなる予算の平準化が必要となります。

22 ページは、学校施設整備の課題として、安全で快適な教育環境整備をするための長期保全計画の取り組みや小中学校の適正規模・適正配置の検討を進めて行く必要があります。

25 ページは、学校施設の基本整備項目として、安全性・耐用性の確保と維持について、機能性・快適性の確保と維持について、環境・省エネへの配慮を考慮して、劣化状況調査の結果を踏まえ検討し整備を進めて行きます。

26 ページは、長寿命化の実施計画として、改修等の優先順位を記載しています。

最優先の整備として、令和 4 年度開校の樹海義務教育学校の整備を進め、増築を含めた既存校舎の改修を予定しています。また、劣化状況の調査からD判定となった機械設備部分も含めた、築 41 年を経過した「富良野小学校」から長寿命化改修を進めて行きます。安全で快適な学校施設を維持していくためには、継続的な整備費用も必要となり、国庫補助金制度を最大限に活用します。

29 ページは、長寿命化の継続的運用方針として、情報基盤の整備と活用方法、推進体制の整備、その後のフォローアップについて記載してあります。

施設の修繕や改修履歴を蓄積し、データベース化して施設関連情報を一元管理します。

また、計画のフォローアップについては、実施計画において事業の推進状況や点検結果等を考慮して、適宜見直すこととしています。

30 ページは、今後の学校ごとの改修計画の概算工事費を記載しています。

なお、本計画（案）につきましては、令和元年 11 月 29 日から 12 月 18 日までの間、「情報共有と市民参加のルール条例」に基づくパブリック・コメント手続きを実施した結果、個人 2 人による 11 件の意見がありました。計画原案を

修正する内容の意見ではありませんでした。

最後になりますが、本計画は、文部科学省から令和2年度までに策定することが求められているものであり、令和3年度から国庫補助事業を活用した施設整備の補助要件として、「優先条件」となっているため、今年度中の策定をめざして作業を進めてきたところです。

以上、よろしくご審議のほど、お願いいたします。

近内教育長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

近内教育長

無ければ、議案第1号について同意することにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。

以上で、本日の議事はすべて終了致しました。

これをもって令和2年富良野市教育委員会第1回定例会を閉会いたします。

閉会 午後5時25分